様式第14号（第5条関係）

令和 7年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市高島5039-1

協議会名 高島まちづくり協議会

協議会長名 会長 山本 健三

まちづくり計画策定状況： 策定済み 未策定

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 1,499,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	回漕店運営事業		876,000
2	婆一ちやるショップ運営事業	○	263,000
3	定期便減便対策事業	○	360,000
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	島民の生活基盤である定期船航路を維持するため、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗船客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
効果	利用者が安心、安全に利用出来るよう心掛けること。高齢化が進み担い手がない中、若い世代が業務に携わり島で収入を得る事が出来、地域の活性化にも繋がる。

2 実施期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島港及び高島回漕店

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 1,210 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 1,200 人（イ）
 ○団体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

定期船が安全に発着出来るよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、回漕店回りの清掃、高齢者宅への荷物の配達。

6 予算額

1,476,000 円（うち交付金分 876,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	876,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	600,000	
三洋汽船	600,000	賃金へ充当
計	1,476,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役員費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
賃金	1,476,000	〃
	0	〃
計	1,476,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	0	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

賃金

内 容	金 額	積 算
回漕店業務	1,476,000	123,000円×12か月
計	1,476,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆ーちやるショップ運営事業

1 目的、活動実施により期待される効果

<p>【目】島には商店が無いため高齢化が進む中、高齢者や障害者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡目商店街の協力を得て商店を開く。また、灯油等の燃料は危険物なので定期船に乗せることが出来無いのため、地元の方の協力で高島～外浦間の燃料運搬の協力を得る。</p> <p>【効果】食料品、生活用品など必要な商品が品で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。買い物に来られた方の会話も弾むひと時でもあります。</p>
--

2 実施期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島回漕店

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 250 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 240 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

月2回商店を開きます。利用者が毎回必要な商品を注文用紙に記入し、集計したものを笠岡商店街に発注する。届いた商品は注文者が取りに来られます。体調の悪い方はグリスロで届けています。

6 予算額

263,000 円（うち交付金分 263,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	263,000	当該年度分
	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	263,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	77,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
運賃	96,000	〃
運搬費	90,000	〃
計	263,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	0	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

運賃

内 容	金 額	積 算
運賃	96,000	商品船運賃 1回4,000円月2回 x 12か月
計	96,000	

運搬費

内 容	金 額	積 算
運搬費	90,000	10,000円×9回
計	90,000	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	定期便減便、運行時間ダイヤ改正に伴い島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
効果	高齢者の家族が帰省時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客も増え島に活気が出てくる。

2 実施期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島港から外浦港間

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 410 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 400 人（イ）
 ○団体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

地元で渡船業営んでいる藪田渡船を利用して、高島港～外浦港間を運行します。利用者が1時間前までに藪田渡船に利用の連絡を入れる。利用者が居ない場合は運休とする。委託料月30,000円と利用者は一人200円を藪田渡船に支払う。

6 予算額

360,000 円（うち交付金分 360,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	360,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	360,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
委託料	360,000	〃
	0	〃
計	360,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	0	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

委託料

内 容	金 額	積 算
藪田渡船	360,000	月30,000円 x 12か月
計	360,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。